やる気発生装置

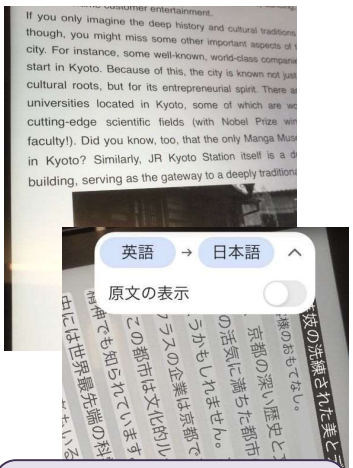
教室通信 Vol.２５７３
Ｒ６．３．２６
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

一瞬で全訳できる時代、求められるもの

高校生がわりと多めの当塾。授業やら問題演習やらで、英語の長文を読んでいることがよくあります。ふと気づいたのですが、１０年くらい前と比べると、「ここの部分の意味がわかんないです」といった質問がほとんど出なくなりました。最近は、わからない単語や英文があると、どうも質問する前にグーグル翻訳に頼るみたいです。ＡＩ技術の進歩が背景にあるのでしょう、この翻訳の質の向上がすさまじいです。１０年前くらいであれば、少しまとまった英文の訳をしてもらうと、もう大笑いするような珍訳しか書けませんでした。結果、教科書の英文の日本語訳プリントなんかは僕が手作業でさんざん作っていたわけですが、今はもはやそんな必要もないくらい、ほぼ自然な訳文を作ってくれるようになっています。英語の教科書には本屋さんで売っている教科書ガイドがあって、それに全訳が載っているのがウリだったりしましたが、もうそんなものも売れなくなっているんではないでしょうかね。

グーグル翻訳にしても ChatGPT にしても、ＡＩの進歩は我々の想定を超えるものがあります。つい数年前は、「ＡＩに負けない能力を身につけるために、答えのない問題に取り組もう」というのが教育の世界での潮流でした。それは間違いだとは言いませんが、答えのない問題に解決策を提案するのは、むしろＡＩの得意分野になっている状況です。「文章表現や美術など、クリエイティブな仕事はＡＩに奪われない」というのが数年前の常識でしたが、生成ＡＩの台頭でそれが怪しくなっているのはご案内の通りです。

そう考えてみると、「〇〇の能力を身につけておけばＡＩに負けない」というのは、何事であっても通用しなさそうです。今は人間に分がある分野でも、３～４年のうちにはＡＩが人間に匹敵する力をつけてきます。そんな時代に、人間が自らの価値を見いだしていくには、何らかの能力に寄りかかるのではなく、人間であることそれ自体を土台にするしかないんだろうな、と思います。今でもＡＩをうまく使えば、感動するような物語や音楽や絵を生成することはできます。でも、それらによって実際に「感動する」ということは人間にしかできないんです。これは技術が発達しても変わらないでしょう。いろいろなことを学んだり経験したりする中で、人としての感受性を磨くことの大切さを感じています。



翻訳の質の向上もさることながら、今はカメラのレンズを向けるだけで即座に訳してくれます。時代の変化はすさまじいものがあります。

ベースとなる能力を磨くことはもちろん必要ですが、人としての感受性がいっそう問われる時代となりそうです。

当面の教室予定

3/26(火)～3/29(金)
１０：００～１２：００
１６：００～２２：００

3/30(土)
お休みです m(_ _)m

3/31(日)
１６：００～２１：００

※21 時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。
※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。